

美に敏感な セレブリティたちの饗宴

Dr. アンディーズクリニック

取材・文/SEVEN HILLS Premium 写真/小松原英介
協力/株式会社ミカ ヴィーノ、株式会社シードワイン、アメリカ乳製品輸出協会 (USDEC)、LAMBRUSCO JAPAN



六本木の老舗美容外科・美容皮膚科・アンチエイジングの「Dr. アンディーズクリニック」で

華やかに開催された“Meso Night Red Carpet Party”。

いつもは高級感と清潔感が漂うクリニックも、この日はレッドカーペットが敷かれ、よりゴージャスな雰囲気。

思い思いのファッションに身を包んだゲストたちは皆、美と流行に敏感なスタイリッシュな人たち。

親しい人、お世話になっている人への感謝を込めて、クリニックの院長Dr. Andyが開いたこのパーティー。

レッドカーペットに彩られた華やかな宴が始まった……。

“Meso Night Red Carpet Party”

“美”を体験するパーティー

東京の梅雨入りが発表されて間もない6月1日。六本木の美容外科・美容皮膚科・アンチエイジング「Dr. アンディーズクリニック」は夕方から慌ただしい雰囲気に包まれていた。廊下にはレッドカーペットが敷かれ、VIP用のサロンルームはいつも増してゴージャスな花が活けられている。控室にはコルクを開けられるのを待っているたくさんのワインと、可憐にデコレーションされたフードが並んでいる。

クリニックスタッフ総出で行っているのは、あと数時間後にスタートする“Meso Night Red Carpet Party”の準備だ。「Meso」とは「メソセラピー」、メスを使わずに薬剤や有効成分を注射したり、浸透させる技術のこと。全身、下半身はもちろん、顔、脚といったピンポイントな脂肪溶解や、ヒアルロン酸を用いたシワ改善などの施術ができる。痛みもなく手軽なこの施術を体験しながら、ワインとフードと会話を楽しんでもらおうという趣旨のこのパーティー。スタート時刻前には既に、会場は華やかなゲストたちで溢れていた。



用意されたフードはデザートに至るまで、全てクリニックのオリジナル。イラストはレシピの指示書で、アンチエイジングをテーマに美容と健康に効果がある食材を用い、食材の組み合わせから味付けまで徹底的にこだわっている

お土産に用意されたのはオリジナルのカップケーキ。可愛らしい“A”のデコレーションにゲストたちから歓声が上がった



左 / イタリア・ピッツィ侯爵家が所有していた耕地から作られたワインPitti Torre a Cenainaシリーズ
提供 / 株式会社ミカ ヴィーノ
右 / 夏にぴったりのパッションフルーツのリキュール「みやらびの雫」
提供 / 株式会社シードワイン



左 / ワインにあわせアメリカ産チーズが数種類用された。マーブル模様美しい「コルビージャック」は、マイルドなコクの中に少し酸味があり、非常にバランスのとれた味わい
提供 / アメリカ乳製品輸出協会 (USDEC)
右 / 爽やかな微発泡が喉を潤すにふさわしいランブルスコ
提供 / RAMBRUSCO JAPAN

希望者数名が塗るヒアルロン酸HA-TD法を体験。「唇がふっくらした」「目元がスッキリした」と、その即効効果に会場から驚きの声がか



ファッションデザイナーのドン小西 (小西良幸) 氏、歌手Greg Irwin氏、華道家加藤大樹氏など、Dr. Andyの大切な友人たちが駆け付けた



Dr.Andy インタビュー

「で愛、ふれ愛、たすけ愛」に想いを込めて

— クリニックで開催するというとてもユニークなパーティーですね。

今回は30名近くお招きしました。皆さん、日頃からお世話になっているとても親しい方たちです。感謝の気持ちを込めたパーティーで、クリニック内にレッドカーペットを敷き、ゲストたちが豊かでゴージャスな時間を過ごせるような趣向になっています。

— Dr. Andyの交流の広さを示す多様な顔触れに驚きました。

私は人との出会いと出会い、助け合いの精神をとっても大切にしており、「で愛、ふれ愛、たすけ愛」という特別な言葉を掲げています。私が日本の六本木で美容外科・美容皮膚科・アンチエイジング専門医療を始めて23年経過しますが、私が今こうしていられるのは、これまで出会った全ての人たちのお陰です。

私は常に、出会った人に対して自分がどんなことをしてあげられるか、また、その人が自分にとってどのような意味をもたらしてくれる存在なのか、真剣に考えています。私は医師ですから、医師として何ができるの

か、ということです。そこで目指しているのが「Life Style Management」。美しくなりたい、若々しくなりたい、健康になりたいという、誰もが持つ願いを、医師という立場でトータルサポートする。つまり、その人のライフスタイルを医療でサポートするのです。

— Dr. Andyは医療活動だけでなく、様々な親善・福祉活動に従事されているそうですね。

国際ロータリーでの活動がメインですが、それ以外にもいろいろな活動、団体に携わっています。私自身、これまで世界約70カ国をまわりました。中国の内陸部で何日間もかけて予防接種を行ったり、バングラディッシュでワクチン投与を行ったり。タイとカンボジアの国境地帯には義足を持って行きました。他にもいろいろな地域での医療活動を、もう何年もやっています。中近東の一部やアフリカではまだ活動できていないので、今後の目標のひとつにしています。

ただ、私は元々現場主義者なので、自分が直接現地に行ってしまうのですが、それだと若い人が育ちません。ですからこ

数年は、できるだけマネジメントに徹し、慈善活動のプロジェクトごとに、適切な人材を配することや寄付金集めに力を注いでいます。私がこれまで培った経験を活かしていると思います。

慈善活動を通じて出会った人たちもまた、よき友人となります。ノーベル平和賞を受賞している人もいますが、彼らとの触れ合いは、私にとってとても貴重で大切なことです。

— 多方面で活躍しているDr. Andyが、この先目指しているものは何ですか？

実は、まだまだ模索中なのです。自分が歩んできた人生が正しいかどうか、まだわかりません。でも、間違っていないのであれば、賛同してくれる人も多いはず。だから、結果を意識して行動するのではなく、模索しながらでもとりあえず何かやるという考え方です。「で愛、ふれ愛、たすけ愛」を心に刻みながら、自分がやれることを一生懸命やっていきたいと考えています。



profile
 アンドリュー・ウォン
 (Dr. Andrew C.W. Wong, MD, Ph D)
 医学博士
 Dr.アンディーズクリニック院長
 美容外科、美容皮膚科、メソセラピスト、
 アンチエイジング医
 国籍 UK
 1974 国立岐阜大学医学部入学
 1976 ロータリー米山記念財団奨学生
 1981 国立岐阜大学医学部卒業
 1981 日本政府文部科学省外国人国費研究奨学生
 1986 国立岐阜大学大学院 整形外科学修了
 医学博士
 1986 名古屋大学形成外科勤務後、欧米の有名な薬学科学者、アンチエイジング専門医、美容外科、美容皮膚医 のもとで
 研修、研究を進める
 1989 東京・六本木にドクターアンディーズクリニック開設
 1999 カナダのトロントに北米研究所を設立、
 医薬品の開発とナノテクノロジーレベルの「経皮膚吸収システム」の研究を始める